

セグロアシナガバチ

教育大学の渡り廊下にスズメバチがいるから駆除して欲しいとのことでした。そこで、4月14日昼前、網をもってそれを見に行きました。すると、この日は気温が上がらずやや寒い日でしたので、ハチはじっとして巣に止まっていた。そこで、私はフェンスによじのぼり、楽々と巣ごとハチを網にしたのです。その私の勇敢な姿を見ていた学生たちの私を見る顔はまさに「驚きと尊敬」にかわりました。かれらはこの気候ではハチがうまく活動できないということに、気がついてないのです。

なお、ハチの名前はセグロアシナガバチでした。我が研究室の標本になりました。

(前田喜四雄)

水上池付近の鳥 (64)

4月14日 朝 (続き)

木のとっぺんに、1羽の鳥が止まってさえずり始めたので、何だろうと思って見てみました。ホオアカでした。その後アシに飛び移りましたが、そこでもとっぺんでさえずっていました。そこには3羽いました。また、少し離れたところでも1羽見ました。

ホオアカは12月から1月の始めまでは平城宮跡でよく見ていましたが、その後は見ていませんでした。アシがどんどん刈られてしまってあまり平城宮跡へ行っていなかったからです。それでも何回かは行ったのですが、アシがたくさん刈られてしまったからは見なかったし、もういなくなってしまったのだらうと思っていたので、あまり探したりしませんでした。この日見たのは渡り途中の個体なのかもしれません。

セッカも盛んに鳴いていました。

平城宮跡では、カルガモ、コガモ、バン、ケリ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、セッカ、ホオアカ(4以上)、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、ムクドリ、ハシブトガラスを見ました。

いつも何もいない大淵池(奈良市登美ヶ丘)にキンクロハジロがたくさんいました。

4月14日 昼

水上池の北側の田んぼに、白サギが2羽いるのが見えました。最近この田んぼにサギがいることは少ないので、ついにアマサギかチュウサギが来たかと思って見てみました。遠くて大きめだということ以外よく見えなかったので、近づいて見ました。やはり2羽ともチュウサギでした。口ばしが短くて、首はかなり太く見えました。ダイ



ホオアカ

サギやコサギのすらっとした細長い首を見慣れていたので、かもしれません。背中に長い飾羽がありました。口ばしはまだ黄色でした。口ばしの先は黒色です。チュウサギは今年初めて見ました。その後、近づきすぎたらしくチュウサギは飛び立ってしまいました。平城宮跡へ飛んで行ったようでした。

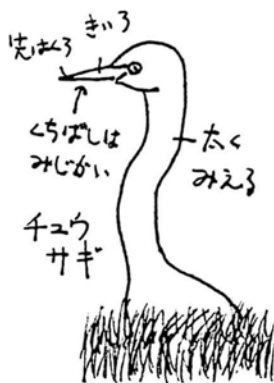
休耕田の横を歩いたら、タシギが5羽ぐらい「ジェーッ」といって飛び出しました。

カイツブリ、ゴイサギ(成1)、ダイサギ、チュウサギ(2)、アオサギ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ(オス1)、ハシビロガモ、キジ、バン、オオバン、ケリ、タシギ、コアジサシ、キジバト、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス。

ウワナベ池にはカイツブリ、カルガモ(2)、コガモ(オス1メス1)、ヨシガモ(メス1)、ホシハジロ(メス1)、キンクロハジロ(40)、バン、ツバメ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメがいました。

またホオアカでも見ようと思って、平城宮跡に行きました。でも、ホオアカは見れませんでした。やはり、あの2羽のチュウサギは平城宮跡に来ていました。2羽とも東の方にいました。

平城宮跡にはチュウサギ(2)、アオサギ(1)、カルガモ、コガモ、キジ、バン、ケリ、タシギ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、モズ、ツグミ、ウグイス、セッカ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、スズメ、ムクドリがいました。



頭をかくセイタカシギ